

あびらの脱炭素

安平町でゼロカーボン推進する取り組みの事例紹介や環境問題を改善するためのアイデアをお知らせします。

発信者 地域おこし協力隊ゼロカーボン推進員・岸本 佳也



ゼロカーボン社会を目指すためには、日常生活での省エネだけでなく、エネルギーそのものを見直す必要があります、その中で注目されているのが「再生可能エネルギー」です。

今回は、この「再生可能エネルギー」がどのようなものか、そして私たちの生活にどのように役立つのかをご紹介します。

「再生可能エネルギー」とは

「再生可能エネルギー」とは「太陽光」「風力」「水力」「地熱」「バイオマス」など、自然界で永続的に利用可能なエネルギーを指します。

これらのエネルギーは、化石燃料（石炭や石油）のように資源に限りがなく、二酸化炭素（CO₂）の排出量を大幅に抑えられることが特徴です。

例えば太陽光発電では、日中に発電した電気を蓄電池にためることで、夜間や雨の日など発電ができない日でも、太陽の光を利用して発電した電気を使用することができます。

同様に風力発電では、風の力を利用して発電した電気を使用することができます。



地域での「再生可能エネルギー」導入の効果

再生可能エネルギーを地域で導入することで、次のようなメリットがあります。

CO₂ 排出量削減

化石燃料を使わずにエネルギーを生産するため、地球温暖化対策に貢献できます。



電力の地産地消

地域で作った電気を、地域で使用することで、電力会社から購入する電力の依存度を減らすことができます。この仕組みにより、外部の電力に頼り過ぎず、持続可能な電力利用を進められます。

災害時の電力確保

太陽光発電と蓄電池を導入することで、災害時にも電気が使える環境を整えることができます。



「ゼロカーボン社会の実現」に向けた町の取り組み

「再生可能エネルギー」の導入は、二酸化炭素（CO₂）の排出を減らし、環境を守るための大切な取り組みです。

「ゼロカーボン社会の実現」を目指し、一部公共施設への太陽光発電システム導入の計画や検討など、さまざまな取り組みを実現することで、再生可能エネルギーの活用に向けた第一歩を踏み出そうとしています。

今後もゼロカーボン社会の実現に向け、可能な範囲で再生可能エネルギーの導入を進めることで、二酸化炭素（CO₂）排出量が少ない環境の整備を目指してまいります。その実現には町民の皆様のご協力が必要です。一人ひとりが、自分にできる範囲で少しずつ再生可能エネルギーを取り入れることが、町の未来を変える力になりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

次号の「あびらの脱炭素」では「カーボンニュートラル」について、詳しくご紹介します